

令和2年度第3回 新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

日 時 令和2年10月1日(木) 午後2時～
会 場 白根健康福祉センター 3階多目的ホール

<p>午後2時 事務局</p>	<p>開会</p> <p>これより、令和2年度第3回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます南区健康福祉課課長補佐の片桐と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日も新型コロナウイルス感染症防止のため、皆様からマスク着用や消毒のご協力をいただいております。ご配慮ありがとうございます。室内の換気等を行うため、温度が不安定になることも予想されます。何かとご不便をおかけすることになりますが、感染防止の対策になりますので、何とぞお許しいただきたいと思っております。</p> <p>なお、事務局としては南区に四つの障がい者団体を運営する「わいわいかフェ」を通じコーヒーのサービスをさせていただきますが、新潟市水道局オリジナルの冷水のペットボトルをご用意しておりますので、併せて飲用いただければと思います。</p> <p>なお、本日の会議は会議録を作成する関係上、内容を録音させていただきます。</p> <p>それでは、開会にあたり、南区健康福祉課の佐藤課長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>健康福祉課長</p>	<p>皆さんこんにちは。佐藤でございます。</p> <p>本日から10月ということで、昨日でクールビズが終わり、我々もネクタイをして気を引き締めて仕事にあたっているところでございます。午前中は雨も、私が住んでいる西区は雨が降っていて、残念ながら我が家の子どもの小学校では運動会が中止になったのですけれども、コロナ禍の中でも短いながらも運動会など各行事が何となく再開されてきたなと思っております。子どもたちのはじけるような笑顔とか、ようやく活動を再開して、今日も下の生きがい通所を見てきたのですけれども、活動している高齢者の方々のいきいきした姿を見ると、この地域福祉のアクションプラン、我々が目指すところの安心安全で住みやすい南区を目指して、我々も気を引き締めてやっていかなければならないと、改めて感じながらこの会場に来た次第です。</p> <p>本日の会議は3回目となります。振り返りますと、1回目が6月24日でした。策定スケジュール、基本理念、基本目標をご確認いただき、分科会の顔合わせを行いました。7月からは分科会を開催し、それぞれの分野の計画の素案についてご意見をいただきました。おかげさまで、8月20日には第2回の会議ということで、分野別計画修正(案)、地区別計画の策定の経過報告ということで順調に進めてまいりました。</p>

	<p>た。このような経過の中、本日の予定ですけれども、次期計画の冊子の全体の構成（案）についてご説明いたします。前回お示しした分野別計画素案も事務局でさらに精査いたしました。この第二次修正（案）に対するご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>また、社会福祉協議会の呼びかけで策定される地域福祉活動計画、いわゆる地区別計画についても、現在、七つの地区で座談会が開催されたと伺っておりますので、その開催状況についても経過報告をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様からは忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、本日もよろしくご意見申し上げます。</p>
<p>事務局</p> <p>南区社会福祉協議会事務局長</p>	<p>続いて、南区社会福祉協議会の小林事務局長よりごあいさつ申し上げます。</p> <p>南区社会福祉協議会事務局長の小林でございます。いつも大変お世話になっております。社会福祉協議会の事業推進につきましては、さまざまな場面で皆様からご協力をいただいておりますこと、この場をお借りし御礼申し上げます。大変ありがとうございます。</p> <p>今ほど佐藤課長のごあいさつにもありましたとおり、地区別計画の策定について、委員の皆様をはじめコミュニティ協議会、地区社会福祉協議会の皆様のご協力をいただきながら進めているところでございます。計画された座談会は11月で終える予定になっておりますが、引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今日は10月1日ということで、赤い羽根共同募金が始まっております。皆さんもあちこちで募金を呼びかけられることになるかと思いますが、募金活動は12月まで続きますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は皆様の忌憚のないご意見をいただきながら、今後の策定に活かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、資料の確認をさせていただきます。事前に配付した資料としまして、「分野別計画素案第二次修正」です。この資料の字句の訂正をさせていただく場所になります。資料11ページの用語解説に、「支え合いのしくみづくり推進委員とは」となっておりますが、「推進委員」ではなく「推進員」に訂正いたしますので、「委」を削除いただきたいと思っております。</p> <p>次に、本日お配りした資料の確認をお願いしたいと思います。本日の「会議次第」、「委員名簿」、本日の「座席表」。資料1「南区地域福祉アクションプラン（案）」、資料2は両面印刷したもの。資料</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>番号はついていませんが、南区社協だより。</p> <p>ございますでしょうか。落ち等がありましたら予備と交換させていただきます。いかがでしょうか。</p> <p>次第3「議事」についてです。ここからは、南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の規程により、田辺委員長から進行、山田ひろ子委員に副委員長役をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、田辺委員には委員長席に、山田委員には副委員長席にお移りいただきたいと思います。</p> <p>皆さんお疲れさまです。委員長の南社会福祉協議会選出の田辺でございます。今回は3回目でございますが、ご協力のほどお願いしたいと思います。</p> <p>今回の会議の目的でございますが、前回に引き続き、次期計画の策定に伴う審議となります。このアクションプランについては、私たちの福祉の向上のためにこの計画があるわけですが、私ども委員の役割といたしましても、この計画についての意見や評価を入れていくということですので、よろしくをお願いしたいと思います。</p> <p>本日は、次期計画の冊子の構成も提案されていますので、その辺のところも意見に入れていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、議事に沿って進めてまいりたいと思います。議事の(1)次期計画の構成(案)及び分野別計画素案第二次修正(案)について事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課地域福祉担当の星野です。</p> <p>資料1を基に次期計画の構成(案)と併せて分野別計画の第二次修正(案)について説明させていただきます。今回の委員会では、次期計画の冊子について具体的にイメージを持っていただこうと思っております。まず、冊子の表紙から順に説明をいたします。今回の表紙の案については、南区の各地域のイメージの写真をつけてあります。このアクションプランは行政計画だけでなく、地域福祉活動計画(地区別計画)とセットの計画であり、地域住民の皆さんと共に実行していくという視点でこのような案とさせていただきました。なお、現時点、表紙の写真はイメージの案ですので、ほかに適当な写真などがあるか、今後、各地区に照会したいと思っております。</p> <p>次に、表紙の裏面、南区地域福祉アクションプランはという説明は、現計画と同様につけています。</p> <p>次のページ、はじめにについては、あいさつ文になります。次期計画は南区長、南区社会福祉協議会会長、推進委員会委員長のお言葉を</p>

予定しています。

次に目次になります。これから説明する構成が決まれば、最終的にページ数を入れていくことになります。

次に、序章です。現計画にもありますが、「地域福祉とは」、「地域福祉計画とは」という説明になります。文言については現計画の冊子をお持ちの方は1ページをご覧ください。比べていただくと分かるのですが、冒頭の部分に若干説明を追加しています。

次の「地域福祉計画とは」については、現計画とほぼ同じなのですが、4行目に「障がいがあっても」という部分を「障がいがある人もない人も」という文言としています。

次に、計画の位置づけをつけました。ここでは、ご覧のように計画の法的根拠を記載しております。

次のページ、地域福祉計画と地域福祉活動計画の関係になります。ここでは、分野別計画と地区別計画、両計画を総称して、南区地域福祉アクションプランとしている旨を説明しています。

次のページは、ほかの行政計画との関係について、現計画の冊子では第二章の8ページに計画策定のプロセスという部分の記載がありましたが、次期計画からはご覧のようにまとめた関係図をつけて説明したいと考えています。

関係図を若干説明いたしますが、本計画は上位計画に「にいがた未来ビジョン」（新潟市総合計画）があります。また、区ビジョンまちづくり計画とは福祉分野を具体化する関係にあり、新潟市地域福祉計画とは各区の計画を後押しする形で、各区が策定する計画と併せて地域福祉計画となっています。この地域福祉計画は、本課が策定する各福祉分野別の計画である、児童・障がい・高齢者・ほかの関連計画など各分野の計画を横断的につなぎ、福祉に関連する施策を推進する福祉分野の上位計画である関係を表現しています。

次に、第1章になります。現計画の冊子では、先に説明した区計画を後押しする新潟市地域福祉計画の基本理念や基本目標を参考までに掲載しておりましたが、次期計画からは、南区の計画に特化した冊子としたいと考え、第1章から南区地域福祉アクションプランとしています。

最初に、南区の概要（すがた）を掲載しています。時間の関係で読み上げは割愛いたしますが、南区の位置や基幹産業、現在の人口、将来の人口という項目で表現しています。

人口については、令和2年3月末現在の住民基本台帳の数値、将来

人口については、直近の平成 27 年度の国勢調査の数値を使用しています。なお、今年度は国勢調査の年ですので、最新の推計値が年度内にもらえないか統計所管課にお尋ねしたところ、国勢調査の推計値が出るのが来年度ということで、平成 27 年度の推計値を使っております。南区の人口については、現在、4 万 4,000 人ですが、20 年後は 3 万 5,000 人ということ、高齢化率も現在の 30 パーセントから 38 パーセントを超える見込となっています。今後、人口減少・少子超高齢化社会の到来は明らかになっており、そのため、見守り・つながる仕組みづくりが必要で、地域の資源を生かし、交流を促し、地域のつながりを深めていかなければなりません。そのためには、人の力、地域の力をどう生かしていくかが重要な課題になるとしてしています。

次のページの南区の人口推計のグラフをご覧ください。これは 2045 年までの推計が出ています。注目して見てもらいたいのが、2020 年の人口グラフと 2045 年を比べていただきたいと思います。グラフの表示について若干説明しますが、一番上の層が 75 歳以上、上から 2 番目の層が 65 歳から 74 歳、一番層の厚い上から 3 番目が 15 歳から 65 歳、いわゆる生産人口といわれているものです。一番下が 0 から 14 歳の子どもとなっています。総人口と子どもの数が減ることはさきにお伝えしたとおりですが、見ていただきたいのが、2020 年の 15 から 64 歳の生産年齢人口と 65 歳以上の人口、75 歳のものも足していただくこととなりますが、65 歳以上の人口を比較したときに、生産人口の高さが約 2 倍あります。ところが生産人口が徐々に減り、2045 年には生産人口と 65 歳以上の人口はほぼ同じになることが読み取れると思います。これが、人口から見た南区の姿になります。

次に、2 番目の基本理念・基本目標についてですが、第 1 回目の委員会ですでに委員会に諮っているものです。基本理念についてはこれまで進めてきた二次計画の理念につながり、支え合いやネットワークを強化する視点を加え、南区において地域の連帯を強め、住み慣れた地で安心して生活できるよう、だれもがつながり、支えあい自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりが「ふるさと南」の創造につながります。また、こうした地域福祉の取組みから、区民一人ひとりが生きがいを持ち、福祉活動で潤うまちを創りあげますとしています。

3 番目、基本目標については、同じく第 1 回目の委員会に諮っているものになります。区ビジョンの目標と整合性を図り、「ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち」としてしています。

4 番目、構成についてです。南区地域福祉アクションプランは、福

社分野ごとにまとめた分野別計画と地区単位の地区別計画から構成されています。分野別計画は地域における福祉課題を児童・子育て支援、障がい者・生活困窮者支援、高齢者介護者支援・健康寿命延伸及び地域づくりの分野ごとに整理し、行政、社会福祉協議会、福祉事業者及び地域住民による課題解決に向けた取組みの方針や内容を明らかにしたものです。さらに地区ごとに地区別計画を策定し、コミュニティ単位で抱える課題の確認と解決するための目標を設定し、地域福祉活動にかかわる者自らが計画の進行を管理する仕組みを作っていますと

述べています。

5 番目、計画期間ですが、令和 3 年から令和 8 年度の 6 年間になります。期間については新潟市共通になります。

次に、第 2 章の分野別計画になります。ここでは、各分野の体系図を表にして表しています。基本目標があり、分野の枝がそれぞれ四つ、①安心して産み子育てできるまち。②障がいがある人もない人も安心して暮らせるまち。③高齢者も安心して暮らせるまち。④私たちが支え合い助け合うまち。各施策についてはそれぞれ記載のとおりです。

次に、事前配付した分野別計画の第二次修正（案）についてです。これについては、先ほどの体系図を具体化したものになりますので、後ほど、体系図の後ろにこれを加えていただきたいと思います。前回の委員会で素案の第一次修正（案）を見ていただいておりますが、事務局で文書を精査いたしまして、字句の追加や抹消をしております。字句の見直しや修正したところは、黄色のマーカー、字句を抹消したところは分かりやすいよう、あえて赤字二重線で見え消しの表示をしています。また、各施策の内容を補足する意味で、新たに QR コードを付記し、関連するホームページに飛ぶような工夫を施してみました。後ほど QR コードを読み取る機能がある端末をお持ちの方、あるいはご家族等で端末をお持ちの方がいれば、お時間があるときに試しに見ていただければと思います。時間の関係で修正した箇所の詳細説明は割愛させていただきますが、後ほど、全体の構成と併せてご意見等があれば伺いたいと思います。

次に、第 3 章になります。ここ地区別計画の章になります。現在、この章については南区社会福祉協議会で鋭意策定中ですので、本日は見出しだけを表示しています。地区別計画の策定状況については、後ほど別途説明があります。

次に、第 4 章です。ここではアクションプランの進行管理と評価体制を表示しています。

<p>田辺委員長</p>	<p>最後に資料編になります。1番目、策定経過、2番目、当委員会の開催要綱、3番目、現委員会の名簿、4番目、統計データ。統計についてはさまざまな種類があり、現在、事務局で集約しております。どのデータを掲載するのか、公表は可能なのかを精査するので、本日は現時点の項目（案）のみ列挙しております。今後、まとめり次第表示していく予定です。なお、全体的に写真などの挿入も検討しています。</p> <p>以上が、次期計画の構成（案）と併せて分野別計画の第二次修正（案）についての説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>冊子の説明をいただきました。非常に長いので、最初の質問、ご意見につきましては、表紙から序章までの間でのご意見、ご質問。単純に字句の間違いなどがあればご意見をいただきたいと思います。何かございますでしょうか。</p> <p>ないようであれば、次に、第1章の「南区地域福祉アクションプラン」について意見等がございましたら、お願いします。</p> <p>次に、第2章の分野別計画 素案第二次修正についてご意見等ありますか。</p>
<p>上杉委員</p>	<p>第二次修正の20ページですが、④避難行動要支援者に対する支援の充実の取組み（施策）の方向性の欄に「要援護者名簿を活用した災害時における地域住民による助け合いの体制づくり」と記載されているのですが、「要援護者」は「要支援者」と呼び方が統一されたのではないかと思うので、要支援者名簿ではないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘のとおりです。平成28年度までは要支援者名簿と言っておりましたが、法律の改正がございまして、平成29年度から要支援者名簿という名称に改めたということです。これは、所管である地域総務課と確認し修正したいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ほかにご意見、ご質問等がございましたらお願いします。</p> <p>なければ、次に進みたいと思います。議事（2）地域福祉活動計画（地区別計画）策定の経過報告について、事務局の社会福祉協議会からお願いします。</p>
<p>南区社会福祉協議会</p>	<p>南区社会福祉協議会の横山と申します。よろしくお願いいいたします。</p> <p>資料2をご覧いただきたいと思います。地域福祉活動計画（地区別計画）策定の経過報告をさせていただきたいと思います。9月30日現在で座談会が終了した地区は、冒頭の課長のごあいさつにもございましたけれども、7地区となります。資料2の左側の欄につきましては、各地区の開催日を掲載しております。併せて写真も掲載させていただ</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>きました。様子が分かるようにということで掲載させていただきました。右側につきましては主なご意見・内容を掲載させていただいております。内容につきましては、各地区から支え合いのしくみづくりについてご意見をたくさんいただいておりますし、子ども、障がいに関すること、その他、将来を見据えた取組みとして、人材育成、活動の場や機会の創出、健康寿命の延伸など、さまざまな声をいただくことができました。これから座談会を開催するところもございますけれども、これから地区ごとに座談会を開催し、それぞれまとめについても地区ごとに打ち合わせをさせていただきまして、1月末をめどにまとめていきたいと考えております。引き続き、ご協力のほどお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今の事務局の説明にご質問、ご意見がございましたらお願いします。なければ、次に進みたいと思います。議事（3）今後スケジュールについてお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域福祉担当の星野でございます。</p> <p>今後のスケジュールについて説明します。第1回目の委員会で配付したスケジュール（案）をお持ちの方はご覧いただければと思うのですが、今年度、お示ししたスケジュール（案）では、次回第4回目の委員会の開催が11月中旬となっております。当初予定では、10月初旬までに分野別計画と地区別計画の素案が集約され、自治協議会への報告やパブリックコメント前の11月中旬には両計画のほぼ完成形を見ていただくこととしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた11月中旬までの地区別計画の素案が乾かない状況となっております。</p> <p>したがって、事務局としては自治協議会報告については11月に行い、主に分野別計画と地区別計画の策定状況の報告とし、12月以降予定されるパブリックコメントについては、基本、分野別計画のみとすることを検討しています。</p> <p>そこで、事務局からの提案なのですが、分野別計画については、本日を含め委員の皆様にご覧いただいておりますので、この先、内容や方針が大きく変わることも考えにくいこと。また、両計画の素案がそろわないまま11月中旬に委員会を開催しても、委員の皆様のご負担となりますので、11月の開催はいったん見送り、12月以降予定されるパブリックコメントに提出する案が決まりました書面開催とさせていただき、意見があれば事務局にフィードバックする方法でいかがで</p>

田辺委員長	<p>しょうか。</p> <p>また、先々の話で恐縮なのですが、年明け2月中旬に予定していた第5回目の推進委員会については、地区別計画の素案や議事の内容を含めて、すべてまとまり次第、速やかに委員長と副委員長と対応を協議したうえで、日時等も含め早めにお知らせしたいと考えています。なお、素案以外のことで委員の皆様にご連絡や報告すべきことが生じた場合、その都度、させていただければと思います。</p> <p>以上で、今後のスケジュールについての説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今、説明がありましたとおり、書面開催ということですが、もし皆さんから意見があれば、検討したうえでやりますが、地区別の推進計画ができていない関係もごさいますけれども、パブリックコメントの素案については基本、分野別計画のみとして、11月の委員会は書面開催とするということです。それが終わった後に、2月中旬開催の予定の第5回目については、私と副委員長、事務局と開催の日時を早急に決めたいという説明だったと思います。この件についてご意見がございましたら、お願いします。</p> <p>今の事務局の説明でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、11月に予定していた第4回目の委員会は書面開催とし、年明けの第5回目の委員会については、内容が決まり次第、お知らせするというところでよろしいでしょうか。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>次に、次第4「報告及び連絡事項」になります。事務局からございましたら、お願いします。</p> <p>先ほど、冊子の表紙の写真について説明しましたが、現時点、案でするので、ほかに適当な写真などがあるか各地区照会しますが、地区を通じて委員の皆様にもご協力をいただくことがあるかもしれませんので、その節はは何とぞご協力いただければと思います。</p>
田辺委員長	<p>それでは、本日予定しておりました議事は終了いたしました。全体を通して、ここで言うておきたいことはあれば承りたいと思います。今日は非常にスムーズに短時間で委員会が終わりますが、庄瀬の中丸委員、何か気づいたことはありますか。</p>
中丸委員	<p>うちの座談会は3回を予定していたところ、日程の関係で1回で済ませましたので、地域計画のほうが少し遅れているのではないかと心配しています。それは全体の遅れになっているようで、こうしてお互いに会って確認しあうということも大事かと思うので、書面開催はできるだけ避けていただければありがたいと思っております。</p>

<p>田辺委員長 長谷川（茂）委員</p>	<p>大通の地区別計画が策定されましたでしょうか。</p> <p>うちは一応終わったのですけれども、明日の理事会で報告することになっています。ただアクションプランといっても本当に分からなくて、地域福祉アクションプランといわないと、何のためのアクションなの？と。福祉をメインに考えると腑に落ちるという感じなので、あれもこれもとごちゃ混ぜになってみんな同じようなことをやって重層的になっているような感じがしたので、福祉とつくると少しは納得できるかなと思います。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>地区別のプランがある程度決まった地区で、座談会をしてみてどうだったかということがありましたら、お願いします。上杉委員、いかがですか。</p>
<p>上杉委員</p>	<p>茨曾根では素案も決まりまして、座談会に出席していただいた方に複写して配って確認をいただいている段階までできあがっています。座談会を開く前に一度、勉強会ではないのですが、ひと月前に、集まれる人たちに集まっていただいて、そのような準備をしてから座談会をしましたので、座談会ではある程度まとめることができました。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ほかにはないようであれば、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p> <p>今日は短時間でありましたが、皆さんのおかげでスムーズにきました。ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。今日頂いたご意見、修正の依頼もありました。そういったことを参考にしながら今後のアクションプランを推進していきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、これで予定したものはすべて終了となります。大変ありがとうございました。</p>